

チャレンジ心を応援します



後藤理事長のあいさつ 式辞を述べる後藤学長

卒業・修了	設置校	入学
1,117人	大学・工学部	1,099人
219人	大学・経営情報科学部	280人
75人	大学院・博士前期課程	75人
5人	大学院・博士後期課程	9人
104人	専門学校	81人
590人	高校	582人
65人	中学	104人

四月一日に行われた辞令交付式で後藤淳理理事長は、少子高齢化と大学全入時代の到来を踏まえ、新人・ベテランを問わず教職員が将来を展望し、一丸となって学園の発展と取り組んでほしいと強く要請しました。

大勢のフレッシュマンを迎え、名古屋電気学園の平成十八年度がスタートしました。各設置校の新入生は大学・大学院、専門学校、高校、中学の計二千三十人(左表参照)。講師から教諭になった教員を含め、学園の新規採用教職員は二十人となっております。

教職員一丸で取り組もう  
 「冬の時代」に問われる実力

「少子・高齢化」と「大学全入時代」到来

新しい仲間が加わり、心も新たに平成十八年度スタート



愛知工業大学 愛知工業大学情報電子専門学校 愛知工業大学名電高校 愛知工業大学附属中学校

目次:

研究助成など	2
入試関連情報	3
入学・卒業式	4・7
18年4月人事	5・6
表彰と奨学金	8
イベントなど	9

発行所  
 名古屋電気学園  
 〒464-8540  
 名古屋市千種区若水3-2-12  
 TEL (052) 721-0201

**十一月七日に94周年式典**  
 創立記念と物故者法要の日程決まる  
 名古屋電気学園の創立九十四周年記念式典は、十一月七日(火)午後零時三十分から、高校の講堂兼体育館・番徳館で行われます。引き続き午後二時から、覚王山日泰寺で平成十八年度学園物故者法要が営まれます。

一方、各設置校の入学式は四月五日から七日にかけて、大学をトップに順次行われました(④面参照)。大学入学式の式辞とあいさつで後藤泰之学長と後藤淳理理事長・大学総長はともに、「社会の期待にこたえるため、勉学や人間形成に努めてほしい。そして失敗を恐れず、なにごとにも果敢にチャレンジしてください」などと新入生にエールを送りました(写真⑤・式辞とあいさつの要旨④面に)。



澤田勉氏

福永祐子さんと故滋氏

「皆さんの支えで受賞」  
 平成17年度「後藤鉀二賞」授賞式  
 故福永理事と澤田高校相撲部顧問

平成十七年度「後藤鉀二賞」の授賞式が一月二十日(日)午前、名古屋電気学園本館棟五階会議室で行なわれました。今回の受賞者は、前学園理事で弁護士故福永滋氏、愛知工業大学名電高校教諭で相撲

部顧問・澤田勉氏(53)の二人で、後藤淳理理事長から賞状と記念品が贈られました。昨年五月に七十一歳で亡くなった福永氏に代わって、式には祐子夫人が出席しました。

「後藤鉀二賞」は故後藤鉀二前理事長を記念し、学園の発展や教育・科学技術・スポーツの振興などに功績のあった人に贈られるもので、福永氏は「四十年近くの間、法律顧問として労働など学園の法律問題を適宜適切に処理した」、澤田氏は「全国高校相撲部新人選手権に二回団体優勝するなど、積極的な選手指導で名電相撲部を全国レベルに引き上げた」ことなどが認められて今回の受賞となりました。

表彰に続いて後藤理事長が二人の功績や思い出などについて話し、澤田教諭が「学園最高の荣誉である後藤鉀二賞を受賞できたのは、自由な教育環境と、周囲の皆さんの暖かい支えがあったからです」などとお礼のことばを述べました。この後、受賞者たちは遺影の前で記念撮影し、後藤理事長を囲んだ懇談会では思い出話に花が咲きました。

文科省の平成18年度私立大学学術研究高度化推進事業に採択

### 次世代型電力供給システムの研究

―柳教授らのプロジェクト― 「社会連携」で開発と取り組み

大学工学部電気学科の柳勝宏教授を中心に産学一体で進める研究プロジェクト「マイクログリッド導入による次世代型電力供給システムの開発」が、文部科学省の平成18年度私立大学学術研究高度化推進事業の「社会連携研究推進事業」に採択されました。平

成二十二年度までの五年間に約三億円の研究費を投入し「太陽光発電や風力発電など分散型電源が導入された地域で良質、安価な電力を複数の需要設備に安定的に供給するシステム」の開発と取り組みます。太陽光、風力による発電システムは、地球温暖化防

止に貢献する新エネルギーとして注目され、東海地区でもかなり導入が進んでいます。この分散型電源の効率的活用を実現するため、発電能力の向上や新発電システムの開発、新しい系統連系装置や電力貯蔵装置の考案などが必要で、自治体や企業と「一体」で研究・開発を進める予定です。マイクログリッドは小さな複数の発電設備と複数の需要設備をまとめてコントロールするシステム

### 経営情報科学部の新入生にPC貸与

―大学でメーカーが指導

平成十八年度から、大学経営情報科学部の新入生全員に「モバイルパソコン」を貸与することになり、四月十日から三日間の日程でメーカー派遣のインストラクターが来学、二百八十人の新入生に順次初期設定などの指導をしました。

卒業までの四年間、情報科学部の経営情報システム専攻とコンピュータシステム専攻、マーケティング情報科学部のマーケティング情報専攻のすべてで授業・演習などに使用するほか、プ

ログラミングやネットワーク技術、情報メディア技術などの研究に幅広く活用します。ビジネスソフトのインストールなどでPC機能のバージョンアップを図るとともに、軽量で持ち運び



インストラクターの指導で初期設定する新入生

文部科学省はこのほど、平成十七年度私立大学等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備等整備費)として、愛知工業大学工学部機械学科の松室昭仁教授をリーダーとする研究プロジェクトを選定、二千五百八十万円の補助を決めました。松室教授らの研究プロジェクトが導入する「マイ

クロ・ナノ構造体加工システム」は、総額三千九百九十万円のシステム。微小ビーム径を持つ「集束イオンビーム」を中心に、ターボ分子ポンプ、ローブレイオンポンプ、ロータリーポンプ、ハンドリングプロベ頭微鏡、制御用パソコンなどで構成されています。ナノ(十億分の一)メートル・レベルという極小の

研究チームでは「摩擦表面や亀裂先端、腐食部の局所観察により、発生原因の究明など広範囲な学際的応用研究を進めることができると期待しています。

### 厚生労働省指定の「教育訓練講座」に

大学院

件を満たせば、給付金を受け取る資格が得られます。働きながら大学院で学ぶ社会人にとって、かなり有利な制度となっています。

### 文部科学省の認定で専修免許授与が可能に

また三月十三日付で文部科学省初等中等教育局から通知があり、大学院経営情報科学研究科博士前期課程が、「高等学校教諭専修免許状」のうちの「情報」と「商業」を授与できることになりました。「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程」として認定されたものです。

### 「ナノシステム」に2580万円の補助

―文部科学省 松室工学部教授らの研究プロジェクト

が簡単なことから、自宅に持ち帰って「eラーニング」学習などに役立ててもらうことになっています。

大型免許の取得やパソコン講座による資格取得などと違って受講した講座は関係なく、「大学院博士前期課程」を修了して所定の条

構造物を加工・蒸着出来るシステムの活用により、「マイクロ・ナノマシン」の開発が可能となります。また微小なサンプルを取り出し、断面や平面など構造を透過型電子顕微鏡などで観察することができるようになります。

	入試制度	出願期間	試験日	合格発表
推薦	総合	10月18日～10月23日	10月30日	11月6日
	女子学生	10月26日～11月2日	11月10日	11月17日
	一般		11月11日	
一般	前期日程	1月5日～1月23日	1月29日～1月31日	2月7日
	マーク中期	2月1日～2月9日	2月16日	2月23日
	マーク後期	3月1日～3月9日	3月15日	3月20日
	センター1次	1月22日～2月1日	本学が独自で課す試験はありません。	2月9日
	センター2次	2月27日～3月9日		3月20日

愛知工業大学平成十九年度入試の制度や日程が左表のように決まりました。推薦入試（総合・女子学生・一般）は、ことし十月から十一月にかけて出願・試験が行なわれます。一般入試は、前期日程が来年一月二十九日から三日間、マーク中期は二月十六

平成十九年度愛知工業大学入試の制度・日程決まる  
前期日程 一月二十九日～三十一日  
中期・後期とも「マーク式」に

開催日	会場	場所
5月16日(火)	ルブラ王山	名古屋市千種区
5月17日(水)	ばるるプラザ岐阜	岐阜市橋本町
	多治見市文化会館(※)	多治見市十九田町
5月19日(金)	ホテルグリーンパーク津	津市羽所町
5月22日(月)	浜松名鉄ホテル	浜松市板屋町
	名鉄トヤマホテル	富山市桜橋通り
5月23日(火)	ホテルアソシア静岡	静岡市黒金町
	ホテルイン金沢	金沢市堀川町
5月24日(水)	新宿センタービル51階・サンスカイルーム	東京都新宿区西新宿
	ユアーズホテルフクイ	福井市中央
5月25日(木)	大宮ソニックシティ(※)	さいたま市大宮区桜木町
	サンルート彦根	彦根市旭町
	ホテルブエナビスタ	松本市本庄
5月26日(金)	マイドームおおさか	大阪府中央区本町
5月29日(月)	シルクホテル(※)	飯田市錦町
	全日空ホテルクレメント高松	高松市浜ノ町
5月30日(火)	岡山コンベンションセンター	岡山市駅元町
5月31日(水)	ホテル日航福岡	福岡市博多区博多駅前

日、マーク後期は三月十五日にそれぞれ実施されます。制度の主な変更点は、後期日程を記述式からマーク式に改めたことで、マーク式の中期日程とともに名称も「マーク中期」「マーク後期」と変更しました。また、大学入試センター試験（一月二十日と二十一日に実施）の結果をもとに可否を判定する「センター利用1次」は一月二十二日

五月に18会場で大入試説明会開く  
高校の進路指導担当者や進学塾関係者らに、愛工大

ク後期」と変更しました。また、大学入試センター試験（一月二十日と二十一日に実施）の結果をもとに可否を判定する「センター利用1次」は一月二十二日

**入試部入試広報課**  
TEL : 0565-48-8121 (代表)  
FAX : 0565-48-4840

昨年の第1回入試説明会＝名古屋ガーデンパレス



の学科や施設内容、入試制度などをよく理解してもらい、平成十九年度入試で高校生らに愛工大受験を指導してもらえればと、入試部は五月に計十八会場で入試説明会を開催します。日程・会場は上表の通りで、五月十六日の名古屋市の「ルブラ王山」会場を皮切りに始まり、三十一日の福岡市「ホテル日航福岡」会場まで締めくくります。国立大学の変更に合わせた情勢の変化に合わせて、これまでの

から、「センター利用2次」は二月二十七日からの願書受け付けとなります。科目など詳細については問い合わせは、入試部入試広報課へお願いします。

平成19年度愛工大入試の会場

十五会場に加え岐阜県多治見市、長野県飯田市、さいたま市で新たに開催します（表の※印が新設会場）。説明会の開始時間は、ルブラ王山会場が午後三時、その他の会場はすべて午後三時三十分です（受け付けは開始三十分前から）。

- 【前期日程】**  
1月29日：愛工大、名古屋、岐阜、津、彦根、浜松、静岡、富山、東京、伊那、大阪、広島、岡山、北九州  
1月30日：愛工大、名古屋、岐阜、津、彦根、浜松、静岡、富山、伊那  
1月31日：愛工大、名古屋、岐阜、津、浜松、静岡、金沢
- 【マーク中期】**  
2月16日：愛工大、名古屋、岐阜、津、浜松、富山
- 【マーク後期】**  
3月15日：愛工大
- ※詳細は入試部入試広報課へ

# おめでとう！ 恭喜恭喜！ Congratulation！



【高 校】四月六日午前九時・喬徳館。五百八十二人を代表して普通科の本田唯さんが宣誓しました。



【附属中学】四月六日午前十一時・愛名館。三年連続の三クラス編成となり、宣誓した百四人の代表は山谷航介君。

## 「希望」に燃えて仲間入り

入学式

【大 学】四月五日午前十一時・鉦徳館。学部・大学院千四百六十三人の代表で宣誓したのは機械学科・倉田尚君。



【専門学校】四月七日午前十一時・四〇二講義室。八十一人を代表して、CAD・CAM学科の大嶋恵実さんが宣誓。



### 後藤泰之学長の式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。愛知工業大学を代表して、心から皆さんを歓迎します。また、ご列席の保護者の皆様には、大切な方々の将来を本学に託していただき、重い責任を痛感しております。今後とも本学の様々な取り組みに対し、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

本学は「自由・愛・正義」の建学の精神のもと、一九五九年、昭和三十四年に開学されました。以来、発展、充実に努め、現在は工学、ビジネス、情報の三分野にわたって、最新かつ高度な教育研究が実施されています。本学の教育の特徴は、「実学教育」にあります。「社会に役立つ人材の育成」こそが、本学の教育が目指す最大の目標です。

今日、社会が求めているのは、広い視野と確かな学識、そして何より豊かな人間性を合わせ持った人材です。そうした人材の育成こそが、本学の教育のモットーである「創造と人間性」の意味するところです。本学は、皆さんの「潜在力」に期待しています。皆さんは、磨けばさらに輝きを増す優れた能力、いまだ秘められた豊かな才能を必ず持つています。

皆さんには、本当に好きなこと、興味を持てることを本学で発見し、より確かなものにしていただきたいと思います。ロボット、コンピュータ、ロケット、高層ビル、eビジネス、環境問題。どんな分野であっても授業、クラブ活動、友人や先生との触れ合い、そんな日常の中から見つけ出せると思います。本学には伝統が培った膨大な学識や科学技術の蓄積があります。それぞれ、専門の知識や技術を身につけた、有能で魅力ある教職員がそろっています。信頼できる友人もたくさん見つかるはずです。それらを十二分に生かせるかどうかは、ひとえに皆さん一人一人の「興味」と、「やる気」にかかっています。皆さんの潜在力が発揮されるよう、教職員一同、全力でサポートすることをお約束します。

### 平成18年度愛知工業大学入学式

愛知工業大学二学部と大学院二研究科の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また保護者の皆さん、お子様の入学を心からお喜び申し上げます。そして本日ここに、多数の来賓、保護者の方々のご臨席をいただき、平成十八年度愛知工業大学入学式を盛大に挙行できますことは、母体である名古屋電気学園にとっても大きな喜びであります。名古屋電気学園は大正元年、一九一二年に創立された名古屋電気学校からスタートし、あと五年余で創立百周年を迎える、歴史と伝統のある学園であります。長い歩みのなかで、本学をはじめ愛知工業大学附属中学校、愛知工業大学名電高等学校、愛知工業大学情報電子専門学校

の四つの学校を擁する総合学園に成長しています。このうち、大学、大学院では「創造と人間性」を教育のモットーに、社会に出てすぐに役立つ人材を数多く送り出してきました。優れた人材とは高度な技術を身につけている、あるいは奥の深い知識を所有している、というだけでなく、その二つのバランスを保つ豊かな「創造力と人間性」が求められます。このモットーのもとに育まれた愛知工業大学の卒業生、そしてそれらの人材を送り出した愛知工業大学が広く社会から、高い評価をうけているのも故なしとせません。

昨年は、大学キャンパスにほど近い長久手町で愛知万博が開かれ、「元氣名古屋」「ものづくり中部」の情報が世界に発信されました。新入生の皆さん、誰にも負けない熱意とチャレンジ精神で、ものづくりの基本、技術を学んでください。この大学での講義や実験、クラブ活動、友人との交流を通じて、皆さんの思い、夢は必ず実現するでしょう。私ども教職員一同も、皆さんを心から

### 後藤淳理事長のあいさつ

歓迎するとともに、健康で楽しく、意義のある学生生活を送られるよう、お手伝いする所存です。

## 平成18年 名古屋電気学園組織変更・主な人事異動 (4月1日)

《組織変更》学園総合企画本部の企画広報室を廃止し、企画課、広報課を設ける。  
大学広報室を廃止する。

《人事異動》(「・」は兼務、カッコ内は前職を示し、大学教員の専攻は省略しました＝課長補佐級以上・敬称略)

## 【任命】

(大 学)	経営情報科学部長	経営情報科学部情報科学科教授	鈴木 達夫
	研究支援本部総合技術研究所長	工学部機械学科教授	架谷 昌信
	附属図書館長	工学部電気学科教授	井 研治
	工学部応用化学科特任教授(工学部応用化学科教授＝その他兼務略)		稲垣 道夫
	事務局長(学生支援本部事務部長＝その他兼務略)		穴戸 哲
(高 校)	教頭(教諭)		後藤 芳樹
	教頭(教諭)		杉浦 由直
(中 学)	副校長(高校教頭)		横地 徹

## 【新規採用】(嘱託職員の事務職員登用は省略しました)

(大 学)	工学部電気学科教授	穂積 直裕
	工学部機械学科講師	中山 雄行
	工学部都市環境学科講師	中井 孝幸
	経営情報科学部情報科学科教授	阿部 圭一
	経営情報科学部情報科学科講師	伊藤 暢浩
	基礎教育センター総合教育教室講師	張 新力
	研究支援本部総合技術研究所助教授	渡邊 藤雄
	事務局警備課長	深見 憲治
	学生支援本部教学センター次長・研究支援本部耐震実験センター事務室事務長	原田 建
(専門学校)	事務部事務長	加藤 眞澄
(高 校)	教諭	平林 義信
	教諭	楳村 和幸
	教諭(常勤講師)	柴田 一生
	教諭(常勤講師)	中山 智明
	教諭・中学教諭(常勤講師)	山田 真紀
	教諭・中学教諭(常勤講師)	河内 章浩
	教諭・中学教諭(常勤講師)	松本 靖
(中 学)	教諭・高校教諭(常勤講師)	中西 泉
	教諭・高校教諭(常勤講師)	石田 健
	教諭・高校教諭(高校常勤講師・中学常勤講師)	大貫 敦史
	教諭・高校教諭(常勤講師)	岡 裕子
	養護教諭・高校養護教諭(養護講師)	橋本 明美

## 【新規委嘱】

(大 学)	大学院経営情報科学研究科客員教授	横井 明
	大学院工学研究科連携客員教授	野々村 裕
	基礎教育センター客員教授	小島 文毅
	基礎教育センター客員助教授(非常勤講師)	坂井 久司
(専門学校)	常勤講師	村瀬 正敬
(高 校)	常勤講師	重山加代子
	常勤講師	平下 実季
	常勤講師	榎山 陽子
	常勤講師・中学常勤講師	坪井しおり
(中 学)	常勤講師・高校常勤講師	伊藤 匡芳

## 【昇格】

(学 園)	総合企画本部長・ホームページ室長(企画広報室長・大学広報室長)	後藤 尚之
	総合企画本部システム管理室長(次長)	各務 謙三
	事務局管理部用度課課長補佐(係長)	宮崎 静
(大 学)	工学部電気学科助教授(講師)	小西たつ美
	工学部応用化学科教授(助教授)	平野 正典
	工学部都市環境学科教授(助教授)	中村満喜男
	工学部都市環境学科助教授(講師)	小池 則満
	経営情報科学部情報科学科教授(助教授)	伊藤 雅

基礎教育センター総合教育教室教授(助教授)	藤井 勝紀
基礎教育センター自然科学教室助教授(講師)	中村 豪
事務局総務課長(総務課課長補佐・学長室課長補佐・大学企画推進室課長補佐)	井沢 清人
事務局会計課課長補佐(係長)	倉地久美子
附属図書館図書課課長補佐(係長)	紫藤 針枝
(専門学校) 事務部課長(課長補佐)	池山久美子

## 【所属変更】

(学園) 総合企画本部企画課長(大学事務局総務課長)	山田 行政
(大学) 経営情報学部マーケティング情報学科マーケティング情報専攻教授(情報科学科コンピュータシステム専攻教授)	中川 覃夫
基礎教育センター助教授(経営情報学部情報科学科助教授)	村中 正
学生支援本部事務長・研究支援本部事務長(教学センター次長・耐震実験センター事務室事務長)	永田 純作

## 【兼務】

(専門学校) 学園総合企画本部広報課	教授 島 悦郎
(高校) 学園総合企画本部広報課	教諭 平田 俊之

## 【組織変更による異動】

(学園) 総合企画本部参事(企画広報室次長・ホームページ室次長・大学広報室次長)	梅木 健三
総合企画本部参事(企画広報室次長・大学広報室次長)	柳田 充
(大学) 入試部入試広報課長・学園総合企画本部広報課長(入試部入試広報課長・広報室課長・学園総合企画本部企画広報室課長)	宇田 秀樹

## 【兼務解除】

(学園) 総合企画本部長の兼務を解く	学園理事・大学学長	後藤 泰之
(大学) 附属図書館長の兼務を解く	工学部電気学科教授	高橋 欣弘
附属図書館館長代理の兼務を解く	経営情報学部情報科学科教授	佐藤由身子

◇退職されたみなさん(特任教授任命者・嘱託再雇用者などは省略しました=3月31日付)

## 【定年退職】

(学園) 総合企画本部システム管理室事務職員・半村久雄
(大学) 経営情報学部情報科学科教授・井上博進、基礎教育センター総合教育教室教授・吉川幸雄、事務局長・堀田龍一、事務局警備課長・牛山吉平、事務局大学秘書・伊藤ひろ子
(専門学校) 特任教授・棚橋寅之祐
(高校) 教頭・中野正紀、教諭・藤尾健一郎、教諭・川村明、教諭・藤澤敏道、教諭・種村俊介、教諭・松岡秀明、教諭・伊藤綾子、事務部課長補佐・中神功

## 【委嘱終了】(実習補助員は省略しました)

(学園) 総合企画本部システム管理室長・中島勤
(大学) 工学部応用化学科客員教授・野田一郎、工学部応用化学科客員教授・山本治、工学部機械学科客員教授・井村徹、基礎教育センター客員教授・大島清、大学院工学研究科連携客員教授・光嶋康一、大学院工学研究科ポストドクトラル・ケン=フォー=チュア、入試部参事・林博明、工学部機械学科技術職員・青山稔、工学部機械学科技術職員・矢野二六年
(専門学校) 事務部事務長・中根貞夫
(高校) 常勤講師・山田勝道、技術職員・上中利彦

## 平成17年度の退職者に辞令交付

定年や委嘱終了など、平成17年度末で退職する人たちへの辞令交付式が3月29日午前10時から、学園本部棟5階の会議室で開かれました。後藤淳理事長が、退職者一人ひとりに辞令と記念品を手渡し、永年の労をねぎらいました。続いて、退職者を代表して中野正紀高校教頭が「教職員の皆さんに助けられ、大過なくここまで来ることができました。思いやりにあふれた、温かな職場に感謝しています」などとお礼のことばを述べました。このあと、後藤理事長を中心に学園幹部らと記念写真に収まり、懇談会では苦労話を懐かしんでいました。



後藤淳理事長や学園幹部と記念写真に収まる退職者たち

# また会いましょう！ 再見！ See you again！



【高 校】三月一日午前九時・番徳館。普通科の奥野泰嵩君が五百九十人を代表して答辞を述べました。



【附属中学】三月十六日午前十時・愛名館。六十五人を代表して答辞を述べるのは早川由洋君。

## 「技術と心」鍛えて巣立つ

卒業式

【天 学】三月二十三日午前十時・鉦徳館。二学部千三百三十六人を代表して謝辞を述べる工学部の榎林亮平君。



【専門学校】三月十七日午前十時・四〇二講義室。謝辞を述べる百四人の代表・情報工学科の小管茂輝君。



### 5人の博士論文テーマなど一覧

- 大野慎介氏（電気・材料工学専攻）：  
「接触反応とフロー分析法を組み込んだ超微量金属イオンの吸光光度法の研究」
- 金永龍氏（電気・材料工学専攻）：  
「各種基板上に堆積された有機薄膜の形態と配向制御」
- 森下隆広氏（電気・材料工学専攻）：  
「新規な電気エネルギー貯蔵材料の調整とその特性評価」
- 山田洋巳氏（生産・建設工学専攻）：  
「市場構造と消費者行動の推定法に関する研究」
- 袁涌氏（生産・建設工学専攻）：  
「免震ゴム支承の地震時応答特性に関する基礎的研究」

## 新博士5人が誕生



### ◇平成17年度学部就職内定状況 (3月31日現在の最終集計結果)

学科	卒業生	就職希望者	内定者
電気工学科	166	150	150
電子工学科	147	129	129
情報通信工学科	123	117	117
応用化学科	126	109	109
機械工学科	180	168	168
土木工学科	103	94	94
建築学科	159	142	142
建築工学科	113	108	108
経営情報学科	125	112	110
マーケティング情報学科	94	81	81
計	1,336	1,210	1,208

※学科名は専攻制導入前の名称  
 ※卒業生=昼間主、夜間主の合計  
 ※就職希望者=大学院など進学者、その他を除いた数

ほぼ100%が「内定」  
 大学二学部の就職希望者  
 大学就職課が三月末でまとめた今春卒業の就職希望者は工学部、経営情報科学部合わせて千二百十人。内定状況はほぼ100%でした。学科別は左の表参照。  
 また、二月に鉦徳館、三月にA I Tプラザで学内企業研究会を開催するなど、就職支援を進めています。



A I Tプラザで開かれた学内企業研究会

大学の卒業式に合わせて三月二十三日、大学院工学研究科博士課程を修了し、博士論文にパスした大野慎介、金永龍、森下隆広、山田洋巳、袁涌の五氏に後藤泰之学長から博士号が授与されました。式後、新博士たちはA I Tプラザ三階で後藤学長をはじめ後藤淳総長、稲垣慎二、澤五郎両副学長、指導担当教員らと懇談。後藤学長が論文作成の労をねぎらったあと、全員で記念写真に収まり、五人の博士号取得と新しい門出を祝福しました。

後藤すゞ子先生奨学金を高2と中2の生徒に支給

学園長だった故後藤すゞ子先生の遺志に基づき、就学の意思がありながら学資負担に困難を生じた設置校の学生、生徒に支給される「後藤すゞ子先生奨学金」が、愛工大名電高校2年の男子生徒と附属中学2年の女子生徒に、後藤淳理事長からそれぞれ支給されました。

【名電高校2年の男子生徒】ことし2月はじめ、自宅から出火して住宅を全焼しました＝支給日：3月14日。

【附属中学2年の女子生徒】母と妹の3人暮らしだったところ、昨年12月に母親が急死しました＝支給日：2月10日。



後藤理事長から交付される武田卓也君

後藤学長から交付される倉田尚君

「大矢奨学金」を交付

大学・機械学科の倉田尚君  
高校・普通科の武田卓也君

学園監事であった故大矢覚明氏の遺志に基づき、愛工大名電から愛工大へ進学した学生、愛工大附属中学から愛工大名電へ進んだ生徒のうち、学業の成績優秀者に支給される「大矢奨学金」の交付式が四月五日に大学、四月六日に高校で、それぞれ入学式後に行われました。大学工学部機械学科機械工学専攻の倉田尚君、高校普通科の武田卓也君で、母親とともに、後藤淳理事長と後藤泰之学長から奨学金を受け取りました。

防災研究や「万博大学」の成功  
正木教授ら5人に第1回学長賞



教育・研究や管理・運営など、大学の発展に貢献した人を顕彰する「学長賞」が創設

され、第一回の表彰式が四月三日午前十時から、10号館大講義室で開かれた「年度始め式」に続いて行われました。受賞したのは正木和明地域防災研究センター長、雪田和人工学部電気学科助教、古橋秀夫工学部電気学科助教、梅木健三学園総合企画本部参事、山田行政学園総合企画本部企画課長。後藤泰之学長が賞状をひとり一人に手渡したあと、五人の授賞理由を紹介しました。続いて、A I T プラザ三階で後藤学長を囲んで記念写真を撮影しました。五人の主な受賞理由は下表の通り。

◇第1回学長賞の主な受賞理由

- 正木 和明**・地域防災研究センター長・工学部都市環境学科教授  
「地震防災コンソシアム」を組織してまとめた研究テーマが、文科省の平成16年度産学連携推進事業に採択されるなど、地域の地震防災向上を目指した教育・研究で、広く地域に貢献している。
- 雪田 和人**・工学部電気学科助教  
愛知万博に自ら考案した「光る風車」を展覧。最良の状態を維持するため185日間にわたり、万博会場へ足を運んで風車の調整に努めた。
- 古橋 秀夫**・工学部電気学科助教  
大学のイメージキャラクター「鉄人28号」のロボットを製作し、愛知万博や各種イベントに参加するなど、大学の技術力PRに貢献した。
- 梅木 健三**・総合企画本部参事（前万博関連事業推進室次長）  
「21世紀・万博大学」の開催にあたり、著名人講師の出演交渉や連絡調整などを勢力的にこなし、成功に導いた。
- 山田 行政**・総合企画本部企画課長（前万博関連事業推進室課長）  
梅木次長を補佐し、学内調整など実務を担当した。

大学工学部・中村研究室の「癒し系マスコット・Puppi」

商品化案が第三回  
CVGCで特別賞

大学工学部電気学科・中村栄治助教の研究室が開発した癒し系マスコットPuppiの商品化案が、第三回キャンパスベンチャーグランプリ中部(CVGC)の特別賞(名古屋産業人クラブ会長賞)に選ばれ、二月六日に名古屋市のホテルで表彰式が行われました。受賞したのは大学院工学研究科一年の高橋睦良君と服部巧君、大学工学部



代表で賞状を受ける高橋君

四年の浅見真吾君、今川雅人君の計四人で、高橋君が代表で賞状を受け取りました。提案は、マイク、パソコン、ピエータやデジタルカメラ、動作のためのモーターなどをうまく組み合わせ、人間を認

識して声や動作に反応、指示に従って動くなどのプログラムミングを施して「ぬいぐるみ」に組み込んだ癒し系マスコットの製作です。研究チームは、子どもの遊び相手になる子猫のような存在と位置づけられており、飽きずに長期間利用できる、心の交流も図れる癒しのツールとして、女性や子どもをターゲットにした商品化・販売を提案しています。高橋君らは「ユーザーお気に入り」の縫いぐるみにも簡単に組み込めるよう、装置を色々工夫し、多くの人に愛される商品として完成させたい」と話しています。

夢童由里子さんから顕彰  
第一回理事賞に女性へ

学園の発展や教育の振興などに功績のあった人たちを顕彰するため、ことし「理事賞」が創設され、第一回受賞者への感謝状・表彰状贈呈式が三月二十九日午前十一時三十分から、学園本部棟五階会議室で開かれました。感謝状は、造形作家で愛知工業大学客員教授の夢童由里子さん、表彰状は三月三十一日付で退職の大学事務局大学秘書・伊藤ひろ子さん。後藤淳理事長が「夢童さんには、二十一世紀・万博大学開催の提案をしていただき、愛知万博で愛工大の名を高めることができました」などとお礼の言葉を述べました。

# 八月五日と六日の二日間開催 大学「まるごと体験ワールド」

暮らしに身近なテーマを選び、小学生から高校生それぞれに保護者にも「科学」を  
楽しんでもらおうと、大学  
キャンパスで毎年開催して  
いる「まるごと体験ワール

テーマ	実施日	対象	人員	時間	参加費
よく飛ぶ竹とんぼを作ろう	8月5日	小4～6年生	30人	10:00～14:00	1,000円
ギリシャ神殿のオーダー模型制作	8月5日	小3～6年生	10人	10:00～12:00	2,000円
			10人	13:00～15:00	
覗いてみようミクロの不思議な世界	8月5日	中学・高校生	5人	10:00～12:00	1,000円
			5人	13:00～15:00	
新理論でレンズの実験をしてみよう	8月5日	中学・高校生	20人	10:30～12:00	500円
愛ちゃんに続け～目指せ北京オリンピックの星～	8月5日	小4～中学生	40人	10:00～15:00	1,000円
太陽電池を用いたライントレースロボットを作ろう	8月6日	中学・高校生	10人	10:00～15:00	5,000円
ロボットカーをつくろう	8月6日	小4～中学生	20人	10:00～15:00	5,000円
超音波で試してみよう	8月6日	小4～中学生	20人	10:00～12:00	500円
パソコン分解講座	8月5日	小学～高校生	35人	10:00～15:00	1,000円
	8月6日		35人	10:00～15:00	
パソコン組立講座	8月5日	中学～高校生	10人	10:00～15:00	1,000円
	8月6日		10人	10:00～15:00	
温度計、風向計を作って夏を測ってみよう	8月5日	小4～6年生	20人	10:00～12:00	1,000円
	8月6日		20人	10:00～12:00	
川の生き物の観察会	8月6日	小学～高校生	※90人	10:00～15:00	2,000円

ド」の日程がことしは八月五日(土)、六日(日)の二日間と決まりました。テーマや時間、募集人員、費用などは上表のようになっています。参加希望者ははがき、ファクス、メールに①郵便番号②住所③氏名④学校名⑤学年⑥電話番号⑦参加希望テーマ⑧同伴

する保護者数1を明記し、六月十九日(月)から七月一日(土)までの間にあて先まで申し込んでください。なお、「川の生き物の観察会」に小学生が参加する場合は保護者の同伴が必要で、※印は保護者を含む募集人員となっています。

**参加申し込みのあて先**  
〒470-0392 豊田市八草町八千草1247  
愛知工業大学エクステンションセンター  
「まるごと体験ワールド」係  
電話：0565-48-8121 (代表)  
ファクス：0565-43-1335  
メール：e-center@aitech.ac.jp

昨年のパソコン分解講座



## 相撲部と野球部に団体奨励賞

平成十七年度名古屋市長スポーツ功労者

平成十七年度名古屋市長スポーツ功労者の奨励賞・団体に、愛工大名電高校相撲部と野球部が選ばれ、三月二十四日午後三時から、名古屋市中区の市公館レセプションホールで表彰式が開かれました。式には、相撲部の澤田勉顧問、野球部の織田秀彦部長が代表で出席、松原武久市長から賞状を贈られました。



喜びの澤田顧問(左)と織田部長

市教育委員会によると、相撲部は昨年三月二十日に行われた第56回全国高校相撲新人選手権大会での団体優勝、野球部は昨年春の選抜高校野球大会優勝が評価されました。なお野球部は二〇〇五年春日井市スポーツ賞も受賞し、三月二十一日に市総合体育館で表彰されました。

## 新会長に津川英明氏

愛工大後援会定時総会開く

大学の保護者会「愛知工業大学後援会」の平成十八年度定時総会が四月五日、キャンパス内の愛和会館講堂に新入生の保護者ら約三百人が出席して開かれました。弓場忠道会長、後藤泰之学長のあいさつに続いて議事に移り、平成十七年度事業報告と決算を承認し、平成十八年度の事業計画と予算案も承認されました。続く役員改選では、津川英明氏が新会長に選出されました。その他の主な役員は次の皆さん(○は新)。

▽副会長 神谷 昭行

○加藤 大三

○平松 芳彦

○戸田 澄雄

▽監事 ○加藤 幹也

また四月二十二日には、四年生の保護者を対象にした懇談会が愛和会館講堂で開かれました。約百人が出席し、大学側が就職状況などの説明をしたあと、個別懇談が行なわれました。



津川会長のあいさつ

愛工大名電高校OBで米  
大リーグ・マリナーズのイ  
チロー外野手が一月三日、  
春日井市の高校グラウンド  
で自主トレを行いました。野  
球部員らに見守られて約二時  
間、バッティングやランニング  
に汗を流しました。

大リーグ・マリナーズのイチロー選手  
春日井グラウンドで自主トレ  
若松親方の断髪式で「ハサミ」



一月二十八日  
には東京・両国  
国技館で開かれ  
た若松親方(元  
幕内朝乃若関)  
の断髪式に出  
席、先輩の活躍  
を称えてまげに  
ハサミを入れま  
した。写真⑤。

四十一回目の定期演奏会開く

創部50年 名電高校吹奏楽部が国際会議場で

創部五十年を迎えた愛工大名電高校吹奏楽部が二月五日、名古屋市熱田区の名古屋国際会議場・白鳥センチュ



リーホールで四十一回目の定期演奏会を開きました。伝統を誇る吹奏楽部の演奏会だけに、会場は満員の盛況。後藤淳学園理事長が五十年間のエピソードやこれまでの活躍ぶりを紹介したあと、伊藤宏樹、梶山宇一両顧問の指揮で次々に素晴らしい演奏を披露し、拍手を浴びました。演奏の合間にはマーチングバンドによるステージドリルも披露され、球場での応援活動に感謝して野球部の代表から花束も贈られました。写真。



ハンガリー合宿に参加

大学フェンシング部の六人  
関西学生フェンシング連盟の選抜により二月二十三日から三月七日まで、愛知工業大学フェンシング部の六人がハンガリー・ブダペスト合宿に参加しました。写真⑥。横井浩治監督と葛

金メダリストは四人

附中の志賀高原スキー学校  
平成十七年度の附中スキー学校が三月二十二日から二十五日まで、志賀高原一ノ瀬ゲレンデで行われ、一年生を中心に百三十三人が参加しました。写真⑦。

好天とインストラクターに恵まれ、最終日の検定では上級のゴールドに四人、シルバーに十二人、ブロンズに十三人合格しました。



谷新一郎コーチ、それに選手の間口智晴君、青木優君、水野太智君、西川香代さんの計六人。連盟参加は総勢三十一人で、横井監督は代表監督、葛谷コーチは代表コーチも務めました。

合宿場での練習は各国参加者との合同ランニングから始まり、体が温まるとフールレ、エベ、サーブルに分かれてコーチによる個別指導。続いて各国選手と試合形式で練習し、午前九時正午までと午後四時から八時までの二部制でみっちり汗を流しました。ハンガリー全土から週一回、選手たちが集まってくる練習会に参加したり、ナショナルチームの選手と試合をするなど有意義な合宿でした。

編集後記

日曜日の昼下がりに。自宅庭で洗車していてバランスを崩し、二階近い段差のある隣地の畑に転落しました。▼したたかに打った背中、痛さもさることながら、はじめて「空をつかむ」を実験しました▼これは、ことば的には肯定ですが、要するに「何もつかめなかつた」という否定的な意味を持ちます▼体勢を立て直そうとして近くのパイプに手を伸ばしましたが、つかんだのはまさに「空」だけ▼▼体勢はさらに悪くなり、体が後ろに反って落下速度を速めたに違いありません▼▼少子高齢化がさらに進み、「大学全入時代」の到来が予想を上回る速さで足音高く近づいています▼▼学園経営「冬の時代」を迎え、教職員は「何をしなければならぬのか」、また「何をすべきではないのか」▼▼若者の目線に立って教育内容を再点検し、魅力ある教育現場を目指して最大の努力をすること▼▼改革などと真剣に取り組み、安易に「これで十分」という結論を出さないこと▼▼「空をつかまない」最善策が、どこかで見つければ幸運です(柳)